

「地域のつながりを作る生涯学習の在り方について」

1 趣旨

生涯学習を取り巻く社会経済情勢

未曾有の超高齢社会

子供・若者の貧困問題

家庭教育の困難化

情報環境の変化

社会のつながりの希薄化

外国人県民の増加による課題

○「第2期愛知県生涯学習推進計画」の策定(平成30年3月)

<愛知県生涯学習推進計画の基本理念>

自己を高め、地域とつながり、未来を築く生涯学習社会

<基本理念を実現するための三つの視点>

- ・個人の自立を促し、学びを生かす機会の充実
- ・地域のきずな作り・ネットワーク作りの促進
- ・多様な主体による連携・協働の強化

○国の動向

「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月)

- ・人生100年時代を見据えた生涯学習の推進
- ・人々の暮らしの向上と社会の維持的発展のための学びの推進

中央教育審議会生涯学習分科会(第99回)(平成30年10月)

- ・人口減少時代の新しい地域作りに向けた社会教育の振興方策について

「地域のつながり」が大切であり、「つながりを創出する人」が鍵

生涯学習推進計画の基本理念の実現のためには、地域における人、組織等の結びつき、相互の信頼・協力の関係の構築により地域ネットワークが形成される「地域のつながり」が生まれてくるのが大切と考える。また、「地域のつながり」を作るには、様々な学習活動において、人、活動、組織などをつなげることにより、新たなつながりを生み出すことのできる「つながりを創出する人」が鍵を握っていると考える。

地域のつながりを作る生涯学習の在り方について

2 視点

「地域のつながり」を生み出すために、「つながりを創出する人」は・・・

- (1) どのような人材(資質や能力、経験を備えていること)が望まれているのか。
- (2) どのような人材が地域に埋もれているのか、発掘するには、どのような方策が考えられるか。
- (3) 人材を養成・育成するには、どのような方策が考えられるか。
- (4) 行政(県・市町村)と連携するためにはどのような方策が考えられるか。
- (5) より活躍をしてもらうためには、県や市町村、多様な主体がどのように取り組み、どのようなネットワークを構築すべきか。

「地域のつながり」

地域における人、組織等の結びつきがあり、相互の信頼や協力の関係が築かれていて、地域ネットワークが形成されること。

「つながりを創出する人」

様々な学習活動において、人、活動、組織などを調整してそれぞれをつなげ、まとめることにより、新たなつながりを生み出すことのできる人。

※人材育成の流れ

①発掘 → ②養成 → ③活用 → ④育成 → ⑤活躍

3 スケジュール・検討内容

回	時期	検討内容
第1回	平成30年11月30日	・どのような資質、能力、経験を備えた人材が望まれているか ・どのような人材が地域に埋もれているのか ・人材を発掘するための方策
第2回	平成31年2月頃	・人材の養成・育成の方策
第3回	平成31年8月頃	・行政と人材とが連携するためのネットワーク作りの方策(県と市町村との役割分担)
第4回	平成32年2月頃	・人材が広く活躍するためのネットワーク作りの方策(多様な主体とのネットワーク)

「つながりを創出する人」

どのような人が「つながりを創出する人」として考えられるか

社会教育主事、社会教育士、公民館長、公民館主事
社会教育委員、地域学校協働活動推進員、
地域学校協働活動に関わるコーディネーター、PTA指導者、
女性指導者、愛知県青年講座修了生、子育てネットワーカー、
社会教育関係団体、NPOやボランティアグループで活躍する人
など

「つながりを創出する人」の養成、育成

公民館主事等社会教育担当者研修会
地域コーディネーター等研修会
放課後子ども総合プランコーディネーター等研修会
社会教育委員研修会
PTA指導者研修会
女性教育指導者研修会
子育てネットワーカー養成講座
愛知県青年講座
生涯学習のプラットフォーム構築推進事業(コーディネーター研修)

※愛知県教育委員会生涯学習課事業より